

手代木直美さん ご勇退

お疲れ様でした！！



5R ～一歩一歩着実に～

北海道所属の1級審判員（国際副審）である手代木直美さんが、トップリーグを担当する審判員から退くことになりました。

長い間、国内外でご活躍され、女子審判員の目標であった手代木さんに敬意を表します。

■ 手代木さんの主な経歴

十勝管内清水町出身

2006年 1級登録

2013年～2024年 国際審判員

担当した主な国内の試合

- ・ Jリーグ 45試合
- ・ WEリーグ 23試合
- ・ なでしこリーグ 134試合
- ・ 皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 決勝
※2013年～2016年・2019年・2022年
- ・ 2024 - 25 WEリーグ クラシエカップ 決勝



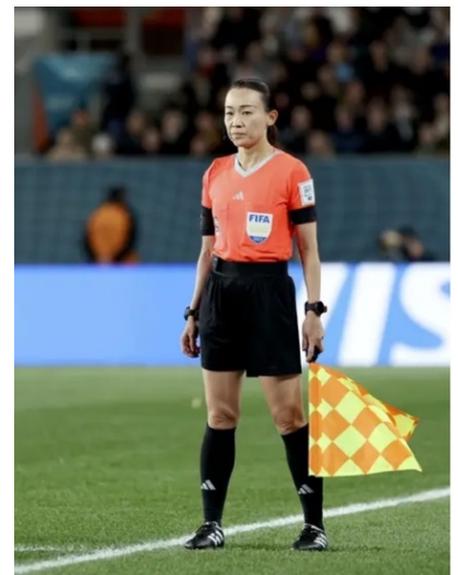
2024. 12. 8 J1 札幌VS柏



試合後にHKFA鷺津副会長と

担当した主な国際試合

- 2013年 AFC U-16女子選手権中国2013
- 2013年 AFC U-19女子選手権中国2013
- 2013年 東アジア選手権
- 2014年 アルガルベカップ2014
- 2014年 AFC女子アジアカップベトナム2014
- 2015年 FIFA女子ワールドカップ カナダ2015
- 2015年 AFC U-19女子選手権中国2015
- 2016年 第31回オリンピック競技大会 (2016/リオデジャネイロ)
- 2017年 AFC U-19女子選手権中国2017
- 2018年 AFC女子アジアカップヨルダン2018
- 2018年 FIFA U-17女子ワールドカップ ウルグアイ2018
- 2019年 AFC CUP 2019 (男子)
- 2019年 FIFA女子ワールドカップ フランス2019
- 2019年 AFC女子クラブ選手権2019 - FIFA/AFCパイロット版トーナメント
- 2021年 女子オリンピック サッカートーナメント 東京2020 playoff
- 2021年 第32回オリンピック競技大会 (2020/東京)
- 2022年 AFC女子アジアカップインド2022
- 2022年 AFCチャンピオンズリーグ
- 2023年 FIFA女子ワールドカップ オーストラリア・ニュージーランド2023
- 2023年 第19回アジア競技大会 (2022/杭州)
- 2023年 女子オリンピック サッカートーナメント パリ 2024 アジア2次予選
- 2023年 AFCチャンピオンズリーグ
- 2024年 AFCアジアカップ2024 カタール
- 2024年 女子オリンピック サッカートーナメント パリ 2024 playoff
- 2024年 第33回オリンピック競技大会 (2024/パリ)



World Cup 2023

■ 手代木直美さんからのメッセージ

この度、サッカー審判員としての活動に終止符を打つことを決断いたしました。

北海道在籍中はもちろんのこと、離れてからもたくさんのサポートを頂きありがとうございました。皆さんからのメッセージや応援が励みとなり、試練も乗り切ることができ、ここまで長く審判活動を続けることができました。そして国内でも海外でも本当に素敵な経験をさせて頂き、幸せな審判生活を送ることができました。私を支えてくれた全ての方に心より感謝申し上げます。

審判活動を続けていくことは、必ずしも楽しいことだけではないと思います。つらい経験をすることもあると思います。ですが、どんな時も、応援してくれる人、支えてくれる人がみなさんの周りにはいると思いますので、その方たちを頼り、一緒に前に進み続けてほしいと思います。続けていくことでたくさんの機会に巡り合え、かけがえのない経験することができるようになります。私も辞めずに続けたお陰で本当にたくさんの貴重な経験をさせて頂きました。

みなさんもたくさんチャレンジをして、成長し続けてください。夢や目標をもってたくさん挑戦してください！

これからは私も皆さんを支える側としてサポートしていきますので、一緒に頑張っていきましょう！これからもよろしくお願いいたします。



Olympic2024

今後は、JFA審判マネージャーとして審判員を支える立場で活動されます。
これからもよろしくお願いいたします！

■ 大岩真由美氏 (JFA理事・HKFA副会長) よりメッセージ

数多くの実績と同様に、数多くの出会いと、素敵な思い出をたくさん得たことと思います。

誰もが経験できるものではないけれど、誰にでも「チャンス」はあるものです。その「チャンス」を彼女自身は気づき、そして自分の長所「スプリント」を自覚し、強みとし、それを武器に、世界に挑戦し続けてきましたね。素晴らしいチャレンジだったと思います。

私自身、いつも思いますが、今の自分が居られているのはどんなに活動環境や見える景色が変化しても最初の景色「北海道」が「原点」であり、大切な場所です。歩んできた道で出会った人や場所、経験は、自分を成長させてくれるそれも大切なものです。私たちはサッカーや審判活動を通じて人生を豊かにしてくれています。

これからは、新たなステージでの挑戦が始まりますね。今度は手代木さん自身が、仲間の人生をより豊かにしてあげられる存在となるでしょう。自分らしく、存分に、悔いなくチャレンジしてください。北海道より応援しています。



2024. 12. 29
WE league cup final
(現役最後の試合)

■ 山崎裕彦氏 (RDO) よりメッセージ

手代木さんが審判を始めたきっかけは、高校時代の恩師である山崎RDOからのお誘いでした。

たいへんお疲れさまでした。可能性はあると思っていましたが、国際審判としてここまでの活動になるとは想像できませんでした。

というのも、当時はまだ国際大会での女性審判というイメージを持ってなく、1級審判にようやく女性が誕生した頃だったからです。その後は、大岩さんの活躍もあり、どんどんと世界が広がっていきました。そういう中で、持ち前のポテンシャルとその場に応じた器用さもありどんどんと才能を発揮されていったと見ていました。いろいろと他の人にはわからない苦労が多々あったと思いますが、よく頑張っていて活動していました。

今後も、相手を理解し、審判のためにも自己のレベルアップを続けてください。指導者としての活躍も、楽しみです。

■ 宮武宏行氏（手代木さんが北海道在住時の女子部部長）よりメッセージ

手代木さん、長い間の審判活動、お疲れ様でした。

2級の頃から頑張っていた姿を見ていましたので、とても感慨深く思います。1級になられてから、自身の研鑽のためにいろいろな高校に出向き、男子の練習試合で審判をされていました。2級Insである私や当該チームの指導者にもアドバイスを求めるなど、その熱心な姿勢を見て、敬服するばかりでした。

HKFA審判委員会女子部では、道内各地に出向き、女性審判員の普及育成活動を行っていただきました。当時の女子部長として、大変心強く思っていました。

今後はJFA審判マネジャーとして活動されると伺いました。これまでの貴重な経験を後輩たちのためにご教示いただければと思います。

■ 現役審判員を代表して、稲葉里美氏（1級審判員）よりメッセージ

いつも背中を追ってきた偉大な先輩が、今年度審判を勇退されることは、少し受け入れることに時間がかかるくらい寂しい気持ちがいっぱいではありません…。

初めて20代前半に手代木さんのレフリー姿を目の当たりにした時、自分の実力不足という事実を思い知らされるのと同時に、1級審判員として、また国際副審として、圧倒されながら見ていた記憶があります。そして、動き方から判断スピードなど、1つ1つを目に焼き付けておかなければと。必死になって見ていたのも覚えています。

国際審判員として活躍された裏には大変な努力があったと思いますし、後輩たちがその後ろ姿を見て、多くのことを学ばせてもらっています。審判員を目指す若い人だけでなく、広く色んな人たちへ審判活動というものが良いと思えるようなお話をたくさん聞かせてもらいました。

本当に感謝しかありません。
ありがとうございました。

WEB研修会④

- 日 時 : 令和7年1月8日(木) 20:00～ 21:30
- 参加者 : 阿部 美季・土屋 花・秋山 心音（2級審判員）
オホーツク地区ユース審判員（3級審判員）
- 講師 : 宮武 宏行（サッカー2級インストラクター・女子部）
- スタッフ : 大石かおり（サッカー2級インストラクター・女子部）
- 内 容

気が付いたことや気になったことはありますか？

・フィニッシュの場面で自分の選手の後ろから2人でプレスに行っているため接触がある可能性が十分にある
キーパーがゴール前で空欄に飛び出しているためオレンジの選手に衝突の可能性もある
ボール保持者の他もう一人オレンジのチームの選手が走り出しているため、蹴り返りがあった場合などを考えると得点の機会は十分にある。



20:00	近況報告
20:10	テーマ『ポジショニング・動き』 ・「どのような場面か？」 ・「気づいたこと・気になったことは？」 ・「どこで何を見たいか」のディスカッション ・「どこに行くか」 ・「どこで動き出すか」
21:20	まとめ



■ 参加者のコメント

阿部 美季

今回はポジショニングについて勉強させて頂きありがとうございました。試合中は次の予測をしながらポジションを取りますが、実際にどこなら巻き込まれず争点を見やすいか悩むことが多かったのととても参考になりました。パスコースや選手の位置、攻撃なども含めてみんなで作る中で自分では気づかない視点でも考えることができました。自分の走力なども考慮する中で今後の試合で活かしていきたいと思えます。

■ 宮武宏行 2級インストラクターより

今回のテーマである『ポジショニング・動き』に関する動画を事前に4本視聴し、「どのような場面であったか」「気が付いたことや気になったことはなかったか」を提出してもらいました。テーマに関わる「距離」「角度」「遅れ」などの単語を用いた説明が多くなされ、場面分析の素養は十分にあると感じました。

各映像での意見交換では、取りたいポジションや監視すべき事象などについて、4分前後の短い時間の中でお互いの考えを出し合っていました。対面形式であれば、もっと活発な意見交換になったと思います。今後の研修会立案の参考にさせていただきます。

今回の研修で得たものをすぐに実践することは時期的に難しいですが、開幕後すぐに活かせるよう、審判員としての感度・体力などをこのオフシーズンに向上させてほしいと思います。

3級審判員研修会

■ 日 時 : 令和7年1月13日(月祝) 13:00~ 15:00

■ 日 場 所 : 道立北見体育センター

■ 参 加 者 : オホーツク地区ユース審判員(3級審判員)

■ 講 師 : 大石かおり(サッカー2級インストラクター・女子部)

■ 内 容



13:00	開講 講義 ・ 事象分析(DOGSO・SPA、コンタクトプレー、すばやいFK) ・ 再開方法の確認
15:00	実技 室内8人制でのレフェリング実践 15分×4本
16:45	振り返り
17:00	閉講

実技研修は、北見北斗高校サッカー部に協力していただきました。ありがとうございました！

■ 参加者のコメント

オホーツク地区ユース3級審判員

今回の研修会では、映像による講義と実技の2つを行いました。講義ではDOGSO、SPAの復習やファウルとその懲戒罰や再開方法の確認などを行いました。自分の苦手なところや理解が不十分だったポイントを集中的に教えていただいて、とても勉強になりました。実技の方では、ポジショニングや体の使い方、笛の吹き方などの課題が多く見つかりました。全国研修前に自分の課題点を見つめ直すことが出来ていい機会でした。最後に、研修会に参加させて頂きありがとうございました。この研修会で出た課題を改善出来るよう、トレーニングを続けていきます。

■ 大石かおり 2級インストラクターより

今回は全国研修に参加する3級審判員を対象に研修を行いました。女子審判員の全国研修は、北海道のオフシーズンに行われることが多く、実践から離れた時期であるため、少しでもその感覚を取り戻すことを目的としました。

実技研修は、体育館でサッカーのルールで8人で行ったため、争点との距離や視野など難しい部分もありましたが、動き出しのタイミングやポジショニングなどを思い出すことができました。

最近はwebでの研修が多くなりましたが、手元でポジションを確認できるなど、対面での講義の良さを改めて認識することができました。

今回は1名でしたが、今後も3級4級審判員に限定した研修会など、女子審判員のスキルアップのために検討していきたいと思います。